

2025 年度大学院入学試験（前期） 語学試験

問題 1 下記の文は、沖縄で実施されたバーチャル・スポーツイベントに関する論文の抄録である。論文抄録を読んで以下の問題に答えなさい。

[Redacted text block containing a copyright notice: 著作権上の問題により掲載しておりません。]

出典：「レジャー・レクリエーション研究」第 99 号 p13 2023

- 問 1 この研究の目的を述べなさい。
- 問 2 バーチャル・スポーツイベントにオンラインで参加した人の主な理由を述べなさい。
- 問 3 この研究からわかったことを述べなさい。

問題 2 以下の「How does warming up contribute to the prevention of injuries during sports activities?」の英文をすべて日本語に訳しなさい。

(1) [Redacted text block containing a copyright notice: 著作権上の問題により掲載しておりません。]

(2)

著作権上の問題により掲載しておりません。

(3)

著作権上の問題により掲載しておりません。

【出題の意図】

研究活動に不可欠な学術文献の読解力や情報収集能力を確認する。英語の基礎的理解力、学習・研究を自立して進めるための基礎的学力を評価する。

【解答例】

問題 1

- 問 1 バーチャル・スポーツイベント「ツール・ド・おきなわ」の特徴、活動レベル、参加理由、満足度、行動意図を明らかにすること
- 問 2 実際に参加するのは難しい現状にあるが、（現地で活動しなくとも）自分のトレーニングや体力レベルを確認するのに便利であるから。
- 問 3 サイクリングの走行距離やイベント参加経験が少ない、あるいは中程度の参加希望者に、スポーツイベントやトレーニングに参加する機会を提供することが示唆された。
バーチャルイベントの参加者は、開催地への興味を示し、将来的に対面イベントへの参加や、実際に開催地を訪れる意欲が示された。
これらのことから、バーチャルイベントはリアル・イベントのプロモーション・ツールとして機能し、会場への集客につながる可能性が示唆された。

問題 2

- (1)ウォーミングアップは、スポーツにおけるケガ（傷害）の予防とパフォーマンスの向上に欠かせない。心拍数、血流、体温を徐々に上昇させることで、筋肉を活動に備えさせ、柔軟性と関節の可動性を向上させ、捻挫や緊張のリスクを軽減する。また、ウォーミングアップは心肺機能を高め、筋肉への酸素供給をより確実にする。
- (2)スポーツの動きを模倣したウォーミングアップ中の動的ストレッチは、特に強度の高いスポーツにおいて、ケガ（傷害）の予防に効果的である。肉ばなれのような急性の傷害のリスクを下げるだけでなく、腱炎のような使い過ぎ（オーバーユース）によるケガ（傷害）の予防にも役立ちます。適切なウォーミングアップを行うことで、筋肉や腱が運動の要求に徐々に適応していく。
- (3)心理学的にも、ウォーミングアップはアスリートの集中力を高め、競技に対する精神的な準備を促す。この準備は、試合中やトレーニングセッション中に素早い決断を下し、メンタルエラーを減らし、ケガ（傷害）のリスクを下げるために不可欠である。全体として、ウォーミングアップは身体的および精神的な準備態勢を強化し、傷害のリスクを最小限に抑え、競技パフォーマンスを向上させる。